

2022 年度

**千葉大学医学部附属病院
看護師特定行為研修**

受講者募集要項



千葉大学医学部附属病院

I. 千葉大学医学部附属病院における特定行為研修の理念と概要

1. 千葉大学医学部附属病院の理念、提供している医療や教育、千葉県の医療の特色について

1) 千葉大学医学部附属病院の沿革

千葉大学医学部附属病院は、1874年（明治7年）に地域の有志により共立病院として創立され、千葉県内唯一の大学病院本院として、社会・地域医療に貢献していくことを使命としています。

2) 千葉大学医学部附属病院の理念と基本方針

理念	人間の尊厳と先進医療の調和を目指し、臨床医学の発展と次世代を担う医療人の育成に努める
基本方針	患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供をします。 先進医療の開発と実践を目指します。 社会・地域医療への貢献をします。 人間性豊かな優れた医療人の育成をします。

3) 提供している医療・教育、千葉県の特色について

(1) 千葉県の医療の現状と課題

千葉県は、高齢化人口の増加率は全国で2番目に高く、2030年度には、高齢化率は31.9%まで上昇し、県東・南地域では50%を超える自治体も出現することが予測されています。県全体の病床数は全国平均の7割程度であり、その上、高度急性期機能を担う病床は多いですが、急性期を脱した患者の受け皿となる病床が少ないことが特徴です。医療従事者数は全国水準よりも低く、医療や介護を必要とする高齢者が急増することにより、今後、医療従事者がますます不足することが予測されます。特に県北西・中央地域の人口集中部は高齢者人口、医療需要が爆発的に増加し、県南の過疎地域では、医療体制をどのように維持するかが課題となっています。以上の背景から、特定行為研修にあたっては急性期病院から回復期、生活期を支える特定行為研修修了者を多数輩出することにより、千葉県の医療資源を拡充する必要があります。

(2) 千葉大学医学部附属病院の役割

当院は、特定機能病院であり、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発、および高度の医療に関する研修を実施する役割があり、多職種で構成された医療安全管理体制が整備されています。また当院は、がん・エイズ等の診療連携拠点病院等に指定されており、県内の医療機関に対して、専門的な知識および技能を有する医療専門職を派遣したり、専門研修を実施し、地域の医療専門職を育成する役割を担っています。そして県内に充実した関連研修病院を有しています。

(3) 千葉大学医学部附属病院の教育

医学部・薬学部・看護学部の医療系3学部を病院と同じ亥鼻キャンパス内に有し、基礎教育においては専門職連携教育を2007年から必修で展開してきました。そのため、当院と三学部は、学生実習受入れや講師、演習指導者、共同研究の実施等の協働教育が充実しています。また当院は医療系大学・専修学校等の学生実習を多く受け入れており、医師・薬剤師・看護師とも指導経験が豊富です。そして当院内に千葉大学大学院医学研究院附属クリニカル・スキルズ・センター（CCSC）が設置されており、施設内に多種多様のシミュレータやモデルがあり、医療系学生や医療専門職が技能トレーニングやシミュレーショントレーニングを行っています。

これらのことから、当院は、すべての特定行為の研修を実施できる資源があり、かつ千葉県の現状からみると、すべての特定行為を実施する必要があると考えます。

2. 千葉大学医学部附属病院の特定行為研修の基本理念と目標

1) 病院特定行為研修の基本理念

千葉県唯一の大学病院の本院として、本学の関連部局と連携した高度実践的看護臨床教育を通して、地域医療の質向上を目指します。
地域で暮らすすべての人々が安心して質の高い医療サービスを受けられ、最後まで自分らしく生き生きよう、安心して安全な医療を提供でき、現場の役割モデルとなる看護師を育成することで、看護・医療の質向上につなげます。

2) 特定行為研修の目標

本院の特定行為研修は、特定行為に係る実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能を修得し、地域医療の中で医療専門職と協働しながら、患者の生命、生活の質向上に向けて活動できる実践能力を持つ看護師を育成する。

- ・地域医療の中で、臨床判断を行うために必要な能力(知識、技術、態度)を養う。
- ・特定行為を適切なタイミングに、倫理的、かつ安全に行える能力(知識、技術、態度)を養う。
- ・看護学的視点と医学的視点を融合した新たな役割の中から、多職種の専門性を尊重しチーム医療が円滑に働くように支援できる能力(知識、技術、態度)を養う。
- ・特定行為を実施する過程において、看護学的視点と医学的視点をを用いて対象者を全人的に理解し、看護に反映する能力を養う。
- ・医学的視点を学ぶことで、看護学的な視点との相違を理解し、看護専門職者としての専門性を発揮した看護過程が展開できる。

3. 千葉大学医学部附属病院における特定行為研修について

1) 特定行為研修の特徴

(1) プログラムについて

当院の特定行為研修は、特定行為を実施しながら地域で暮らす人々の生活を支援し看取りまでの看護を展開する看護師を育成することを目標としています。そのことから、患者の回復過程に沿って、21 の特定行為区分を以下の4つに分類しました。

『クリティカルケア・プログラム』	『リカバリーケア・プログラム』
『ロングタームケア・プログラム』	『コンフォートケア・プログラム』

2017 年度の厚生労働省の患者調査では、悪性新生物の患者数に次いで心疾患の患者数が多く、ケアのニーズが高いこと、並びに当院が地域医療提供体制の中で主に急性期及び高度急性期医療の提供を担っていることに鑑み、2020 年度は主に循環器疾患に関連する『クリティカルケア・プログラム』を開講し、2021 年度は、患者の回復を促進するために活用される特定行為が含まれる『リカバリーケア・プログラム』、患者の苦痛の緩和を目的とした特定行為が含まれる『コンフォートケア・プログラム』を開講しました。そして、2022 年度は、患者の生活調整のために活用される特定行為が含まれる『ロングタームケア・プログラム』を開講します。

なお、すべての特定行為ができることにより、どのような対象に対しても、その場に応じた卓越した知識・技術・能力を発揮できるため、すべてのプログラムを受講することを推奨します。

- (2) 当院は大学病院として医療人の育成を行っている実績があり、経験豊富な医師・薬剤師・看護師がわかりやすく適切な指導を行います。
- (3) 共通科目・区分別科目は e-ラーニングを活用することで勤務と両立しやすくし、その上、当院の医師・薬剤師・看護師が、添削指導や、疑問等に対して補足指導を行います。
- (4) 院内に設置されている千葉大学大学院医学研究院附属クリニカル・スキルズ・センター (CCSC)

において、多種多様なシミュレータやモデルを活用して、実践に近い技能トレーニングやシミュレーショントレーニングが実施できます。

2) 共通科目

共通科目は、特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目です。研修期間の目安は4月～9月の約6か月間です。

共通科目	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学・特定行為実践	45 時間
合計時間数	250 時間

3) 区分別科目

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目です。研修期間の目安はいずれも9月～3月の7ヶ月間を予定しております。

(1) 『クリティカルケア・プログラム』

特定行為区分 6 区分	時間数 (講義・演習)	特定行為 14 行為
循環器関連	21 時間	一時的ペースメーカーの操作及び管理
		一時的ペースメーカーリードの抜去
		経皮的心肺補助装置の操作及び管理
		大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整
心嚢ドレーン管理関連	9 時間	心嚢ドレーンの抜去
動脈血液ガス分析関連	14時間	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
透析管理関連	12 時間	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
感染に係る薬剤投与関連	30 時間	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与
循環動態に係る薬剤投与関連	29 時間	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
合計時間数	115 時間	* 左記時間数に実習時間が加わります

(2) 『コンフォートケア・プログラム』

特定行為区分 4 区分	時間数 (講義・演習)	特定行為 7 行為
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	9 時間	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 時間	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
		脱水症状に対する輸液による補正
術後疼痛管理関連	8 時間	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26 時間	抗けいれん剤の臨時的投与
		抗精神病薬の臨時的投与
		抗不安薬の臨時的投与
合計時間数	59 時間	* 左記時間数に実習時間が加わります

(3) 『リカバリーケア・プログラム』

特定行為区分 7 区分	時間数 (講義・演習)	特定行為 11 行為
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	29 時間	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
胸腔ドレーン管理関連	13 時間	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更
		胸腔ドレーンの抜去
腹腔ドレーン管理関連	8 時間	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む)
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連	7 時間	中心静脈カテーテルの抜去
創部ドレーン管理関連	5 時間	創部ドレーンの抜去
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16 時間	インスリンの投与量の調整
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	17 時間	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整
合計時間数	95 時間	* 左記時間数に実習時間が加わります

(4) 『ロングタームケア・プログラム』

特定行為区分 4 区分	時間数 (講義・演習)	特定行為 6 行為
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	8 時間	気管カニューレの交換
ろう孔管理関連	22 時間	胃ろうカテーテルもしくは腸ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換
		膀胱ろうカテーテルの交換
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの管理)関連	8 時間	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
創傷管理関連	34 時間	褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
		創傷に対する陰圧閉鎖療法
合計時間数	72 時間	* 左記時間数に実習時間が加わります

備考：(1) ～ (4) のプログラムの一部を希望する場合(区分別科目で受講希望の場合)はご相談に応じます。

4. 定員 12名

5. 研修期間

2022年4月～2023年3月(共通科目約6か月、区分別科目約7か月の計1年間)

6. 修了要件

共通科目、区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験(OSCE)、実習の観察評価等などの科目毎の合格を条件とします。さらに修了認定は、関係指導者と看護師特定行為研修担当者が審議の上、特定行為研修管理委員会で行います。

II. 出願手続き

1. 出願資格

- 1) 保健師、助産師および看護師のいずれかの免許を有すること
- 2) 保健師、助産師および看護師の資格取得後、通算5年以上の実務経験を有すること
- 3) 所属する機関の所属長の推薦を有すること(自薦不可)
- 4) 研修優先で受講可能であること
- 5) 特定行為研修を修了後、特定行為を通じて医療の発展及び社会貢献に寄与する意欲があること
- 6) 職場において、看護職員の指導やチームリーダーの役割を担っていること

2. 出願書類

- 1) 出願調書（両面印刷）
- 2) 志願理由書
- 3) 推薦書
- 4) 看護師免許証の写し
- 5) 既修得科目等履修免除申請書 ※共通科目、区分別科目又は特定行為の履修の免除を申請する場合のみ提出。申請書に当該特定行為研修の修了証又は修了見込証明書（任意様式）を添えて申請すること。

3. 出願書類提出方法

- 1) 郵送又は持参とします。
- 2) 郵送の場合は、下記宛に必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「特定行為研修出願書類在中」と朱書きで明記すること。

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院 総務課総合医療教育係 宛

4. 出願期間

2021年11月26日（金）～2021年12月13日（月）必着

※出願書類を持参する場合は、土日祝日を除く午前9時～午後5時まで受け付けます。

5. 審査料及び納付方法

- 1) 審査料
10,000円（消費税込）
- 2) 納付期間
2021年11月26日（金）～2021年12月13日（月）
- 3) 振込先
銀行名：千葉銀行(0134) ひまわり第一支店(302)
口座番号：2372066
※1 振込依頼人名の前に「トクテイ」と入れてください。
※2 振込手数料は受験者がご負担ください。
※3 一旦納付された審査料は返還しません。

Ⅲ. 選考方法

書類審査及び面接審査を行います。

選考日時 2021年12月23日（木） 13時～

面接会場 面接審査は、①対面または②オンラインで実施いたします。志願者各々の事情に応じて、ご希望の実施方法を「志願理由書」の該当欄で選択してください。

なお、今後の状況により、オンラインのみでの実施となる可能性がありますので、予めご了承ください。

①千葉大学医学系総合研究棟（医学部） 4階 会議室

②オンライン（Zoom）

IV. 選考結果発表

選考結果につきましては、ご本人様宛に簡易書留にて郵送いたします。なお、電話、FAX、メール等により可否のお問い合わせの対応はいたしません。

選考結果発表日 2022年1月中旬予定

V. 受講手続きと納付金(受講料)について

1. 受講手続き

受講にあたり必要な書類は、審査結果通知書と一緒に送付します。

2. 納付金

1) 受講料

共通科目 440,000円（消費税込）

区分別科目

『クリティカルケア・プログラム』 528,000円（消費税込）

『コンフォートケア・プログラム』 284,000円（消費税込）

『リカバリーケア・プログラム』 487,000円（消費税込）

『ロングタームケア・プログラム』 325,000円（消費税込）

VI. その他

1. 個人情報の取り扱いについて

千葉大学医学部附属病院の個人情報に関する基本方針に則り、個人情報の適切な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供していただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等に必要な業務に限り使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

2. 看護職賠償責任保険について

研修受講決定者には、4月1日時点で標記の保険への加入を義務づけます。研修開始後、受領証（写し）を提出していただきます（すでに他の保険へ加入している場合は、別途相談）。

3. 感染症対策について

研修受講決定者には、臨地実習開始までに各種感染症に係る免疫確認をさせていただきます。研修開始後、別途案内いたします。

4. 本件に関するお問い合わせ

連絡先	〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉大学医学部附属病院総務課総合医療教育係 電話: 043-222-7171(代表) e-mail: byoin-kenshuu@office.chiba-u.jp
-----	--